

「原発依存大転換のとき」学習講演会

東日本大震災による東京電力・福島第一原発の重大事故は、私たちの命と暮らしを脅かしています。放射性物質は私たちの体にどのような影響を与えるのでしょうか。

また、事故の収束がはかられていない中で、古い原発も含めた再稼働が計画されています。再稼働よりも再生可能エネルギーへの転換をすすめるべきではないでしょうか。

世界は今、原発ゼロをめざす動きが広がっています。岩手県でも脱原発の世論をつくり運動を広げるため、原発に疑問を持ち発信を続けている安斎育郎さんに来ていただくことになりました。ぜひご参加ください！

日時：2月17日(金) 10:30～12:30

場所：盛岡市サンビル 7階 ホール



「原発はなぜ危ないか ～放射性物質は体や環境の中で 今後どうなっていくのか？～」

講師：安斎科学平和事務所所長
立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長
立命館大学名誉教授

安斎 育郎さん

講師プロフィール

1940年東京生まれ。東京大学工学部原子工学科卒、同大学院修士・博士課程を修了し、工学博士。平和・核・原発問題などについてのコメントーターとして各種マスコミに登場。主な著書に『放射能そこが知りたい』、『福島原発事故—どうする日本の原発政策』(かもがわ出版)などがある。

参加無料 保育あり（要予約・1歳以上・200円）

※開催日の5日前までにお申し込み下さい。

主催：原発依存大転換のとき 県民世論を広げる二大学習講演会を成功させる会

・女性会議岩手県本部、岩手県学校生活協同組合、岩手県教職員組合、岩手県原爆被害者団体協議会、
岩手県高等学校教職員組合、岩手県消費者団体連絡協議会、岩手県自治体労働組合総連合、岩手県生活協同組合連合会、
岩手県退職女性教職員の会、岩手県母親大会連絡会、岩手県母と女性教職員の会、岩手県労働組合連合会、
いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク、いわて生活協同組合、岩手地域総合研究所、岩手農民大学、
JA岩手県女性組織協議会、新日本婦人の会岩手県本部、非核の政府を求める岩手の会、
東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議、平和・民主・革新の日本をめざす岩手の会、盛岡医療生活協同組合
(50音順・12月12日現在 22団体)

お申し込み・お問い合わせ 岩手県消費者団体連絡協議会 TEL019-684-2225 FAX019-684-2227